

総務委員会

■平成29年度袋井市一般会計補正予算(第4号)～債務負担行為補正～

Q 袋井市防災センター整備負担金について、本庁舎棟の共有部分における行政組合と袋井市の負担率は、どのように決定したのか。

A 共有部分については、行政組合、袋井市の双方が利用する部分であることから、起債の活用を含め負担率を決めた。これについては、森町も承知しており、袋井市森町広域行政組合議会からも了解を得ている。

■袋井市コミュニティセンター条例の制定について

Q コミュニティセンターの愛称が決定した場合、正式名称とどのように使い分けていくのか。

A 愛称が決定した場合は、ホームページなどで周知していくことで、地域においては、愛称が主体的に使われるようになると考えている。条例案の可決後、年明けから看板掛け替えの準備に入り、愛称の決定が条例施行に間に合えば、併記した形で看板を付けていきたい。

民生文教委員会

■平成29年度袋井市一般会計補正予算(第4号)～児童福祉費～

Q 子ども・子育て支援交付金過年度返還金について、病児・病後児保育事業で返還が生じた要因は何か。

A 平成28年11月から実施した事業であり、100人程度の利用を見込んだが、平成29年3月までで利用者は35人だったため、65人分を返還する。この事業はセーフティーネットとして、必要になった時に利用していただくことが目的であるため、事業主体である「ぬくもり」と市で様々なPRを行い、事業を進めたい。

■袋井市手数料条例の一部改正について

Q 総合証明自動交付機に係る交付手数料を100円増額することは、窓口の混雑に繋がりが、市民サービスが低下するのではないのか。

A 交付手数料を100円下げていた理由は、自動交付機の利用促進を図り、窓口の混雑を避けるためであり、利用率は減額前の約10%から約30%に高まり、所期の目的を達成した。交付手数料を元の金額に戻しても、申請書を書く手間がないため、利用者は引き続き自動交付機を利用し、窓口の混雑はないと考えている。

建設経済委員会

■平成29年度袋井市一般会計補正予算(第4号)～農林振興対策費～

Q 海岸防風林の枯れた松の伐採にかかる費用と、県補助金の補助基本額に大きな差があるが、県の補助対象の範囲は。

A 今年度急激に枯れた二線堤、三線堤の松を伐採するが、このうちグリーンウェイ管理事業の対象森林にある約1,300本の伐採が県補助金の対象となる。費用は386万円で、これに補助率10分の7を乗じた270万円が交付される見込みである。

■袋井市道路線の認定・廃止について

Q 川井75号線は、宅地造成に伴う道路寄附による認定である。道幅が狭い地区に宅地が造成されているが、地元との協議に基づき道幅が拡幅されているのか。

A 市道認定するためには、4m以上の幅員が必要などの要件がある。宅地造成の際には、開発業者等と協議を行っており、その幅員などを確保した上で宅地造成してもらい、それを市へ寄附していただき市道認定している。